

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 1下水道築造費

事務事業番号 01010104

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
管渠築造事業		1,085,665 千円	188,362 千円	722,395 千円	13,685 千円	161,223 千円
上下水道部下水道計画課						
根拠法令	下水道法、下水道施行令、苫小牧市下水道条例					
実施方法	□直接実施 ■業務委託等 □補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	安全・安心で快適な市民生活を実現し、下水道機能を持続的に確保するため、雨水管（大雨対策）や污水管（未普及対策）を整備し、また、老朽化した下水道管の改築更新（老朽化対策）を実施します。					
事業の必要性	下水道は、安全・安心で快適な市民生活に欠かせないライフラインであり、近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するための雨水管整備や、快適な市民生活を実現するための污水管整備、老朽化が進む管渠を計画的に改築更新する老朽化対策を進める必要があります。					
事業の内容	<p>1 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、ときわ町ほかで雨水管を整備し、明野元町でバイパス管の整備や、吐口改良など大雨対策を実施しました。</p> <p>2 污水管整備について 元中野町などの下水道未整備箇所において、污水管を整備しました。</p> <p>3 老朽化対策について 管渠の流下機能を維持するため、管路長寿命化計画に基づき、老朽化した管渠の改築更新を旭町などで実施しました。</p>		 <p>【管渠改築更新状況】</p>			
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	1,085,665 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	千円	担当正規職員	千円	人		
総 計	1,085,665 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
		再任用(ハーフ)	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H29年度	H28年度	H27年度	
	下水道普及率		99.1%	99.1%	99.0%	
	雨水整備率		74.4%	74.2%	73.8%	
成果目標	<p>1 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、雨水管整備に努めます。</p> <p>2 快適な市民生活を実現するため、污水管整備に努めます。</p> <p>3 下水道機能を持続的に確保するため、管渠の老朽化対策を計画的に実施します。</p>					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由	近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するための雨水管整備や、下水道未整備箇所への污水管整備を実施しながら、老朽化した管渠の改築更新も計画的に進捗していることから、事業の有効性および効率性は高いと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら、雨水管整備などの大雨対策や、老朽化した下水道の改築更新を計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 1下水道築造費

事務事業番号 01010105

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
ポンプ場築造事業		495,923 千円	152,242 千円	336,385 千円	7,291 千円	5 千円
上下水道部下水道計画課						
根拠法令	下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
実施方法	□直接実施 ■業務委託等 □補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	ポンプ場は、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る下水道の重要な施設であり、その機能を安定的に持続させるため、老朽化が進む設備の部品交換や改築更新を計画的に進めます。また、東部地区の人口増加に対応するため、沼ノ端中継ポンプ場の増設を実施します。					
事業の必要性	下水道は、安全・安心で快適な市民生活に欠かせないライフラインであり、下水道機能を持続的に確保するため、ポンプ場の老朽化対策を計画的に実施する必要があります。また、東部地区の人口増加に対応するため、沼ノ端中継ポンプ場の増設に取り組む必要があります。					
事業の内容	<p>1 老朽化対策について ポンプ場の機能を維持するため、機器長寿命化計画に基づき、老朽化した機器の改築更新を、幌内川中継ポンプ場や錦岡中継ポンプ場で実施しました。</p> <p>2 ポンプ場増設について 沼ノ端中継ポンプ場の増設に向け、地下2階から地上階の土木躯体工事を実施しました。</p>		 <p>【沼ノ端中継ポンプ場増設状況】</p>			
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	495,923 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	千円		担当正規職員	千円	人	
総 計	495,923 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用(フル)	千円	人	
			再任用(ハーフ)	千円	人	
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	長寿命化対策機器数(計画対象機器 55点)			33	4	1
成果目標	下水道機能を持続的に確保するため、ポンプ場の老朽化対策を計画的に実施します。					
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	老朽化対策を計画的に実施したことにより、ポンプ場の機能低下や停止を未然に防止できたことから、費用に見合った効果が得られていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら、老朽化施設の部品交換や改築更新などの老朽化対策、東部地区の人口増加に対応する、沼ノ端中継ポンプ場の増設を計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 1下水道築造費

事務事業番号 01010106

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
下水道処理場築造事業		439,216 千円	193,350 千円	239,420 千円	6,444 千円	2 千円
上下水道部下水道計画課						
根拠法令	下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	下水道処理センターは、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る下水道の重要な施設であり、その機能を安定的に持続させるため、老朽化が進む設備の部品交換や改築更新を計画的に進めます。					
事業の必要性	下水道は、安全・安心で快適な市民生活に欠かせないライフラインであり、下水道機能を持続的に確保するため、下水道処理センターの老朽化対策を計画的に実施する必要があります。					
事業の内容	<p>1 老朽化対策について 下水道処理センターの機能を維持するため、機器長寿命化計画にもとづき、勇払下水道処理センターの電気設備更新に着手するとともに、高砂下水道処理センターで汚泥流量計の更新を実施しました。</p>  <p style="text-align: center;">【汚泥流量計更新状況】 (高砂下水道処理センター)</p>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	439,216 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
人件費	千円	担当正規職員	千円	人		
		嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
		再任用(ハーフ)	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
総計	439,216 千円					
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H29年度	H28年度	H27年度	
	長寿命化対策機器数(計画対象機器 269点)	点	2	1	24	
成果目標	下水道機能を持続的に確保するため、下水道処理センターの老朽化対策を計画的に実施します。					
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性(費用対効果)	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由	老朽化対策を計画的に実施したことにより、下水道処理センターの機能低下や停止を未然に防止できたことから、費用に見合った効果が得られていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら、老朽化施設の部品交換や改築更新などの老朽化対策を計画的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。					